



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和5年4月12日（火）



2校時に入間地区算数数学学力調査を実施しました。この学力調査は、入間地区（旧入間教育事務所管内）の公立小・中学校の児童生徒を対象に毎年行っているもので、今年で68年目となります。前年度学習した算数・数学科の内容が定着しているかどうかをみますので、小学校2年生であれば1年生の時の内容から出題されます。よって、まだ算数を学習していない小学校1年生は調査対象外です。出題数は各学年ともに25問。問題の多くは基礎的基本的内容であり、発展問題が1～2問含まれます。算数数学科は、既習事項をもとにして新たな学習内容を積み上げていく教科なので、この調査問題がどの程度できているかが、学力を図る一つのバロメータになります。



今日もよい天気なので、20分休みは子供たちが元気に校庭に飛び出してきました。新しい担任の先生と一緒に遊ぶ姿も見られます。ALTの先生も校庭に出て、低学年の子たちとボール投げで遊んでいました。メタセコイアには、案の定1年生の子たちがぞくぞくと集まってきます。大きな根っこに走って登ったり、ジャンプして飛び降りたりしています。誰に言われるのでもなく、大きな根っこは1年生たちの特等席になってしまうのです。このメタセコイアには、大人にはわからない不思議な力があるようにも思えてきます。



4校時は、4年生が体育館で学年集会を行っていました。4年生は小学校生活の折り返し点であり、高学年に向けての心構えをつくる学年でもあります。学年集会は、先生たちから子供たちに願うことを伝えたり、学年共通の約束やきまりごとを確認したりする大切な時間です。子供たちは、おしゃべりもせず、顔をしっかりと上げて話を聞くことができました。進級したことで、「これからしっかりやらなければ」という意識の高まりが子供たちの姿勢からも感じられました。



明日(4月13日)の「校長の目～西小日々通信～」は、都合によりお休みさせていただきます。